

新・こどもと健康

No.92

2024.9.2

マイコプラズマ肺炎、大阪府で2016年流行時ピーク越え ～全国では1年前同期に比較して約57倍～



出典：大阪府感染症情報センターHP『定点把握疾患 疾患別過去データ比較 類型：マイコプラズマ肺炎 10年間の推移』、ケアネットHP『第207回 マイコプラズマ肺炎が全国で急増、8年ぶりの大流行/感染研(公開日2024/8/26)』

マイコプラズマ肺炎は全数把握されている訳ではありませんが、7月29日から8月4日の週に大阪府の基幹定点あたりは3.89となり、2015-2016年流行時のピーク3.29を越えました。国立感染症研究所によれば、8月5日から11日の週の全国の定点報告は1.14で、去年同期比で約57倍とありました。大阪府の同期比は昨年が0.00であったので、比を出せませんでした。

お盆を挟んでやや減りつつあるようにも見えますが、もうしばらく要注意です。

10月1日から小児用20価肺炎球菌ワクチンが定期接種に？

先月号で小児用20価肺炎球菌ワクチン(プレベナー20®)の発売をお伝えしました。8月30日現在、堺市からは正式な案内はありませんが、10月1日から定期接種として採用されそうです。当面の間はバクニューバンス®も使用可能のようです。4月に15価のバクニューバンス®が採用されたところですが、プレベナー20®の発売とともに、プレベナー13®は販売中止になります。プレベナー20®とプレベナー13®、プレベナー20®とバクニューバンス®の交互接種については、必要な規定を設けるとあります。

出典：厚生労働省HP『第61回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会 資料1(2024年7月18日)』

子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種は令和7年3月31日まで

結核患者数、2023年は過去最少を更新、低蔓延国維持

諸外国と日本の結核罹患率

国名	罹患率	年次
米国	2.6	2022
スウェーデン	3.9	2022
デンマーク	4.0	2022
オランダ	4.1	2022
イタリア	4.6	2022
ドイツ	5.1	2022
オーストラリア	5.6	2022
カナダ	5.7	2022
フランス	7.2	2022
英国	7.6	2022
日本	8.1	2023
韓国	39	2022
シンガポール	51	2022
中国	52	2022
タイ	155	2022
ベトナム	176	2022
ネパール	229	2022
インドネシア	385	2022
ミャンマー	475	2022
フィリピン	638	2022

罹患率は人口10万対
罹患率10.0以下が低蔓延国
罹患率100以上が高蔓延国

日本の新登録結核患者数及び罹患率の年次推移(新分類後)

年	実数	罹患率
1998	41,033	32.4
1999	43,818	34.6
2000	39,384	31.0
2001	35,489	27.9
2002	32,828	25.8
2003	31,638	24.8
2004	29,736	23.3
2005	28,319	22.2
2006	26,384	20.6
2007	25,311	19.8
2008	24,760	19.4
2009	24,170	19.0
2010	23,261	18.2
2011	22,681	17.7
2012	21,283	16.7
2013	20,495	16.1
2014	19,615	15.4
2015	18,280	14.4
2016	17,625	13.9
2017	16,789	13.3
2018	15,590	12.3
2019	14,460	11.5
2020	12,739	10.1
2021	11,519	9.2
2022	10,235	8.2
2023	10,096	8.1

結核罹患率の都道府県別 主な順位(2023年)

都道府県	罹患率	都道府県	罹患率
岩手	3.6	大阪	13.1
山梨	4.0	大分	12.2
山形	4.4	奈良	10.8
宮城	5.2	兵庫	10.2
長野	5.2	京都	9.9

罹患率は人口10万対

厚生労働省によりますと、日本の2023年の人口10万人あたりの結核患者数(罹患率)は、去年を0.1下回り、過去最少を更新しました。罹患率10.0以下が低蔓延国とされ、3年間維持できています。

一方、外国生まれ新登録結核患者数が1,619人と、前年の1,214人から405人(33.4%)の増加、特に20～29歳で前年より46.8%の大幅増が指摘されました。

都道府県別で見ると、罹患率でワーストは大阪府でまだ13.1あります(最も良い岩手県の3.6倍)。2022年集計のワースト3～5位が長崎県、徳島県、和歌山県だったのが、奈良県、兵庫県、京都府に入れ替わり、近畿圏だらけになっていました。

14歳以下の小児結核患者で、重症である粟粒(ぞくりゅう)結核が2人、結核性髄膜炎が3人いました。

出典：読売新聞オンライン『結核患者数、人口10万人あたり8.1人で過去最少を更新…外国生まれの新規感染者は大幅増(2024年8月28日)』、厚生労働省HP『2023年 結核登録者情報調査年報集計結果について』

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン、9月下旬に発売

新・こどもと健康No.35(2019年12月号)、同No.87(2024年4月号)で話が出ていた経鼻弱毒生インフルエンザワクチン『フルミスト®点鼻液』がいよいよ9月下旬に第一三共株式会社から日本で新発売されます。対象は2歳以上18歳以下です。メリットは注射でなく、両鼻へ1回ずつの噴霧であること、注射と違って予防効果が期待できること、約1年効果が残ることですが、デメリットは一人分9,000円前後と値段が高いことです。当科でも注射ワクチンとともに、取り扱いを開始するつもりですが、どれくらい入荷するか不明です。詳細が決まりましたら、案内・募集をさせていただきます。

令和6年度からの高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種

令和6年度から堺市在住で接種日に満65歳の方と60歳～64歳で心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に一定の障害を持つ方だけが定期接種の対象になっています。堺市独自の66歳以上の方の任意接種は令和6年度が最終年度となります。出典：堺感対第5427号『令和6年度の定期予防接種について(情報提供)(令和6年2月26日)』

2024年4月から五種混合ワクチン(ヒブ+四種混合)が流通しています(新規の方のみ)

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

当科の診療時間帯

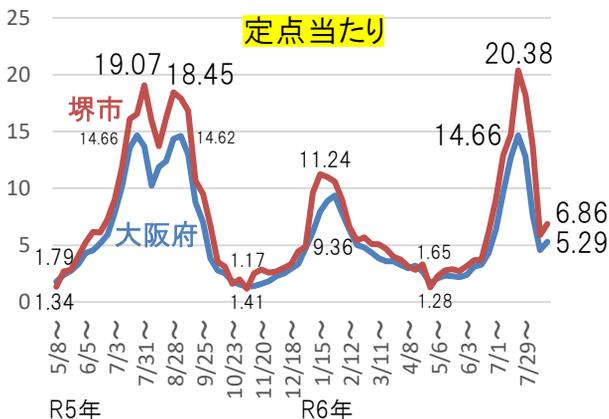
2024年9月の診療時間帯(予告なく変更する場合があります)

9:00～ 9:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
9:30～12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30～19:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無断キャンセルしないでください。他の方の受診機会を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

新型コロナウイルス感染症第11波はピークアウト



新型コロナウイルス感染症の定点報告数

	大阪府 堺市		大阪府 堺市		大阪府 堺市		大阪府 堺市	
R5.5/8~	515	39	9/4~	4,458	520	R6.1/1~	1,444	141
5/15~	686	78	9/11~	3,961	488	1/8~	1,891	279
5/22~	797	82	9/18~	2,677	310	1/15~	2,436	326
5/29~	968	117	9/25~	2,148	276	1/22~	2,718	319
6/5~	1,256	152	10/2~	1,179	196	1/29~	2,863	307
6/12~	1,324	179	10/9~	849	102	2/5~	2,400	261
6/19~	1,506	177	10/16~	771	90	2/12~	1,958	192
6/26~	1,754	211	10/23~	555	46	2/19~	1,540	157
7/3~	2,330	263	10/30~	471	58	2/26~	1,470	165
7/10~	3,036	346	11/6~	414	34	3/4~	1,333	148
7/17~	4,028	467	11/13~	429	73	3/11~	1,181	147
7/24~	4,399	480	11/20~	493	83	3/18~	1,101	136
7/31~	4,093	534	11/27~	558	75	3/25~	1,106	115
8/7~	3,078	446	12/4~	695	78	4/1~	992	108
8/14~	3,576	384	12/11~	763	87	4/8~	900	91
8/21~	3,744	455	12/18~	893	96	4/15~	974	82
8/28~	4,361	535	12/25~	1,026	129	4/22~	807	96
						8/19~	1,620	199

定点数:大阪府で約306、堺市で約29医療機関

新型コロナウイルスの定点報告で第10波後、令和6年4月29日からの週に大阪府が1.65、堺市が1.28まで下がりましたが、6月末から加速度的に悪化し、7月22日からの週に大阪府で14.66、堺市は20.38まで悪化しました。すでにピークは越えており、8月19日からの週は大阪府は5.29、堺市は6.86でした。最後少し上がっていますが、8月12日からの週にお盆を含んでいたためと思われます。

出典：大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症 発生状況2023年 第19週～2024年 第34週』

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性者数・陽性率(約6か月間)

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率			
R6.3/4~	21	1	5%	4/29~	5	1	20%	7/1~	3	0	0%
3/11~	21	1	5%	5/6~	7	0	0%	7/8~	4	0	0%
3/18~	21	1	5%	5/13~	8	1	13%	7/15~	12	3	25%
2/26~	21	1	5%	5/20~	6	1	17%	7/22~	12	3	25%
3/25~	13	1	8%	5/27~	7	0	0%	7/29~	18	5	28%
4/1~	8	0	0%	6/3~	7	0	0%	8/5~	22	6	27%
4/8~	9	1	11%	6/10~	5	1	20%	8/12~	9	1	11%
4/15~	7	0	0%	6/17~	2	0	0%	8/19~	14	4	29%
4/22~	6	1	17%	6/24~	6	1	17%				

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は陽性者数÷抗原検査数で計算しています。7月1日から31日で10人の陽性の方がいました。8月5日からの週に6人、8月12日からの週に1人、8月19日からの週に4人の陽性の方がおられました。

9月・担当医の変更

なし